

ワク！ワク！！エネルギーふれあいタウン2008出展協力参加報告

1. 「ワク！ワク！！エネルギーふれあいタウン2008」の概要

このイベントは、東北経済産業局が主催し、局管内の発電所のある県と市町村の協力の基、本年度も仙台市役所前市民広場で2日間の催し（地域の物産展やエネルギーを考える発表や展示等）が行われたもので、今年から、局の消費経済課製品安全室にも製品安全のブースを設けないかという提案があり、n i t e東北支所にも協力要請が来たものである。全体の主旨はエネルギーを考えるという主旨で開催しているが、製品安全をアピールする良い機会としてn i t e東北支所では協力することとなり、製品安全に関わるビデオ放映、事故品展示、パネル展示及びパンフレットの配布を行った。

(1) 開催日時：2008年11月8日（土）～9日（日） 10:00～16:00

なお、9日は15:00まで

当機構展示場所来場者数：延べ2,000人（全体総来場者数：約10,000人）

主催者：東北経済産業局

後援：東北各県ほか市町村マスコミ等全39団体

会場：仙台市勾当台公園市民広場（仙台市青葉区国分町3丁目）

2. N I T E 広報活動

(1) 出展ゾーン及び展示内容

展示ブースは局の製品安全室と合同でテント一つに、製品安全室は来年4月から施行される長期使用製品安全点検制度・表示制度を中心にパネル展示やパンフレット等の配布を行い、n i t e東北支所は、N I T Eがこれまで収集してきた事故品の中で最近話題の事故品や長期使用による事故品を中心に展示（5品目）し、その内容を紹介したパネル（A0版）を8枚展示した。また、誤使用ハンドブック等の配布及びアンケートを実施した。

・配布資料：N I T Eきっかけパンフ、製品安全パンフ、誤使用ハンドブック、身・守りハンドブック、パネルのA4版（数種）

(2) 来訪者について

(a) 来訪者

来訪者には、N I T E職員が一人一人に丁寧かつ分かり易くN I T Eの事故情報収集業務と展示事故品の原因等の説明を行った。

イベント及び製品安全のブースの風景を以下に示す。

		
写真1 入り口案内	写真2 職員の説明風景	写真3 製品安全ブース風景

3.まとめ

当イベントは今年で10回目を迎えるが、今年は例年になく寒い中で、しかもイベントは規模も縮小されたにもかかわらず来場者数は例年並みの賑わいで大いに盛り上がりました。

また、展示にあたり、今年は話題となった樹脂製サンダルのエスカレータ巻き込み事故や来年度の法改正に繋がった長期使用製品の事故品（扇風機）や電気ストーブ等身近な話題を考慮してNITEスクエアに展示されている事故品を展示し、事故品や展示パネルの詳細をn i t e職員が説明したところ、家庭で使用している製品に危険が潜んでいることや実体験なども来場者から聞かれ、説明を熱心に聞かれる方が非常に多く、あらためて製品安全の関心の高さを感じました。

製品事故の説明に対して、n i t eの存在や事故情報収集制度を知らなかった来訪者がまだまだ多かったものの、事故品への感心は高く、かなりの反響が得られた。参加者の意見としては「身近な製品での事故に繋がる使用方法に注意したい。」との声が多く、今回の参加によりNITE及び事故調査への期待がさらに高まったものと思われる。

以上